



2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 ワイエイシイホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 百 瀬 武 文
(コード番号 6298 東証プライム)
問合せ先 取締役管理統括本部長 畠 山 督
(TEL. 042-546-1161)

2025 年 3 月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024 年 11 月 14 日に公表しました 2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の業績予想数値と、本日公表しました実績値におきまして差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績との差異（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

（金額：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	28,000	2,500	2,100	1,500	81 円 50 銭
実 績 値 (B)	23,041	1,354	1,124	559	30 円 39 銭
増 減 額 (B-A)	▲ 4,958	▲ 1,145	▲ 975	▲ 940	—
増 減 率 (%)	▲ 17.7	▲ 45.8	▲ 46.5	▲ 62.7	—
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	26,809	2,006	2,074	1,417	77 円 17 銭

(注) 2025 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前期実績 (2024 年 3 月期) における「1 株当たり当期純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

2. 差異が生じた理由

(1) 売上高については、主に以下の要因により業績予想を大きく下回ることとなりました。

(半導体・メカトロニクス関連事業)

イオンミリング装置や自動搬送関連装置の製造・販売は好調に推移し、また、光学検査装置の製造・販売も復調傾向となり、売上高に寄与しましたが、業界全体での車載用半導体関連の不調に伴う顧客の設備投資の手控えや後ろ倒し、ハードディスク関連装置の販売先都合による納期調整が続いていることが、売上高に影響しました。

(医療・ヘルスケア関連事業)

次世代人工透析装置の販売がスタートしましたが、販売時期が当初の予定より遅れたことから、今期売上への寄与が限定的になりました。また、予定していたワイエイシイバイオ株式会社関連の検査装置の販売がずれ込み、業績予想未達へ影響しました。

(環境・社会インフラ関連事業)

制御通信等の大型受注や開発案件の創出、アニール装置の大型受注等、受注活動は好転しましたが、今期の売上にはならず、中国の景気減速によるドライエッチャー部門の販売低迷も続き、大幅な減収となりました。

(2) 営業利益につきましては、上記売上高の減少の影響により、業績予想を下回ることとなりました。

(3) 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記営業利益の減少の影響に加え、主に以下の要因により業績予想を下回ることとなりました。

①中国のドライエッチャー販売先の倒産に伴い、貸倒引当金の繰入が発生。

②前期の為替差益が今期は為替差損に転じたこと等により、全体として営業外損益が悪化。

3. その他

(1) 配当につきましては、2024年11月14日に公表いたしました通期配当予想からの変更はございません。(詳細につきましては、本日発表の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。)

以 上